

宮崎 洋幸

みやざき ひろゆき

宮崎 洋幸 Hiroyuki Miyazaki

健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授

学歴・学位

北海道大学 医療技術短期大学部 作業療法学科 卒業

広島大学大学院 保健学研究科 保健学専攻 博士課程前期修了（保健学修士）

県立広島大大学 総合学術研究科 生命システム科学専攻 博士後期課程単位取得満期退学

主要職歴

- | | |
|-------------------------|--|
| 昭和 63 年 4 月～平成 6 年 3 月 | ○ 厚生年金事業振興団 登別厚生年金病院 リハビリテーション部 |
| 平成 6 年 4 月～平成 10 年 3 月 | ○ 医療法人仁康会 小泉病院 生活支援部 |
| 平成 10 年 4 月～平成 12 年 6 月 | ・同法人 本郷中央病院 老人デイケア |
| 平成 12 年 7 月～平成 16 年 3 月 | ・同法人 介護老人保健施設 ドリームせせらぎ 主任療法士 |
| 平成 16 年 4 月～平成 25 年 3 月 | ○ 学校法人古沢学園 広島医療保健専門学校 作業療法学科
専任教員 |
| 平成 25 年 4 月～令和 2 年 3 月 | ・同法人 広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 准教授 |
| 令和 2 年 4 月～現在 | ・同法人 広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 教授 |

専門分野

作業療法教育（臨地・養成教育）、作業療法理論（作業行動理論、人間作業モデルなど）、一次予防 OT
高次脳機能、ハイレゾリューション音源の効果、認知機能、模倣 imitation、自律神経機能
認知症予防（効果的なプログラム開発など）

主な担当科目

高次脳機能障害作業療法学、高次脳機能障害作業療法学演習、作業療法治療学総論（理論）
高齢期作業療法学、高齢期作業療法学演習、精神医学総論 I・II、作業療法倫理学など
作業療法特論、臨床実習指導、基礎臨床実習、臨床見学実習、総合臨床実習、卒業研究指導など

研究テーマ

作業療法学生の養成教育および臨床教育に関する研究
ハイレゾリューション音源が人にもたらす影響に関する研究
認知神経機能を用いる特定の作業活動が自律神経指標へおよぼす影響に関する研究

一次予防としての作業療法活用に関する実践を含めた研究・認知症予防（効果検証など）

ひとこと

作業療法は、とても貴重な対人援助職・医療技術職です。
共に学び、共に「作業療法」を伝承していきましょう。

その他（所属学会・団体）

日本作業療法士協会会員、広島県作業療法士会会員（第23回 広島県作業療法学会 実行委員長）
日本作業行動学会会員（2017年～2018年.評議員）、日本高次脳機能障害学会会員
日本自律神経学会会員、日本認知神経リハビリテーション学会会員
人間作業モデル講習会講師・臨床実習指導者講習会講師
一次予防としての作業療法研究会／65歳大学勉強会主宰（2018年）
一次予防としての作業療法研究会／OT観を豊かにする勉強会主宰（2019年～現在）

研究活動

学術論文

- 1) Hiroyuki Miyazaki, Toshihide Harada, Jyunnya Aonaka, Fumiko Ishizaki, Yuko Kodama, Shoji Ito, et al: Study on Comparison of 24 with 16 Bit Headphone High-Resolution Music Box Audio. International Medical Journal Vol. 27, No. 1, pp. 55 - 57 , 2020.2.
- 2) Hiroyuki Miyazaki, Toshihide Harada, Jyunnya Aonaka, Fumiko Ishizaki, Yuko Kodama, Shoji Ito, et al: Relationship between Autonomic Nervous Function and High-Resolution Music Box Audio. International Medical Journal Vol. 27, No. 1, pp. 13 - 15 , 2020.2.
- 3) Toshihide Harada, Fumiko Ishizaki, Yumiko Nitta, Yumiko Miki, Hideaki Numamoto, Miwa Hayama, Shoji Ito, Hiroyuki Miyazaki, Satomi Aoi, Hiromi Ikeda, Tadayuki Iida, Juko Ando, Masato Kobayashi, Ito Makoto, Tsuneshi Sugawara, Kohji Nakabeppu, Kohsaku Nitta: Relationship between the Characteristics of Therapy Goat and Children and Older People. International Medical Journal Vol.26(5): pp.405-408, 2019.10.
- 4) Harada T, Ishizaki F, Nitta Y, Miki Y, Hayama M, Ito S, Miyazaki H, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Ando J, Nitta K: Relationship between the characteristics of a late-onset familial giant thyroid cyst and aspiration treatment. International Medical Journal 26 (4): pp.318-320, 2019.8.
- 5) Nitta K, Harada T, Ishizaki F, Nitta Y, Miki Y, Hayama M, Ito S, Miyazaki H, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Ando J, Ito M, Asakura Y: Relationship between characteristics of genetic study and Kartagener syndrome of elderly people. International Medical Journal 26 (4): pp.316- 317, 2019.8.

ほか 10 編論文

その他（学会発表等）

- 1) 「教員帯同による臨床教育を実施した臨床実習指導者と養成校の協働の成果について」：第 25 回 広島県作業療法学会筆頭ポスター演題発表（採択）：宮崎洋幸，山川敦史，丹羽 敦，児玉 努，上原政一：2020 年 3 月 8 日開催予定がコロナ禍にて延期；遠隔縮小にて県学会実施；筆頭口述発表延期
- 2) 「ハイレゾリューション・自然音を聴取したときの自律神経機能への影響について」：日本自律神経学会 第 72 回総会（北九州国際会議場）：2019 年 11 月 3 日；筆頭口述発表
- 3) 「臨学共同による新たな臨床実習形態の実践について～事前に症例情報提供を受けた教員帯同による臨床教育～」：全国リハビリテーション学校協会主催 教育研究大会・教員研修会 第 32 回大会（中部大学春日井キャンパス）：2019 年 8 月 30 日；筆頭ポスター発表
- 4) 「イヤホンから出力したハイレゾリューション音が自律神経機能へ及ぼす影響について」：日本自律神経学会 第 71 回総会（ラフレさいたま）：2018 年 10 月 25 日；筆頭口述発表
- 5) 「3 年次基礎臨床実習における社会人基礎力と社会交流技能の変化について～合宿研修の成果を参考にした考察～」：全国リハビリテーション学校協会主催 教育研究大会・教員研修会 第 31 回大会（北海道文教大学）：2018 年 8 月 25 日；筆頭ポスター発表

ほか 14 演題発表・報告

著書（書籍執筆）

- 1) 「学習の要点を確認！OT 臨床実習のチェックポイント」（共）丹羽敦 編著：第 1 章（5）臨床実習の形態と学習目標（見学実習・評価実習・地域作業療法実習）部分執筆；メジカルビュー社；2020 年 3 月発刊